

絶滅危惧種昆虫少年少女の復活を目指して

I. はじめに

(1)ビオトープ部とは
ビオトープ部は「**生き物の集まる空間づくり**」を目的としており、日々、生き物の研究、学校内での生態系の把握のための調査等を行っている。部員はいくつかの班に分かれて活動している。

(2)昆虫調査班とは
昆虫調査班の活動内容は園芸高校に生息している昆虫相を調査することである。昆虫相を調査することで、園芸高校内に生息している昆虫を把握して標本として後世にデータを残せていけたらと思った。標本を作製することで明確なデータとなり、保存している。そして、自然に恵まれ、昆虫類を始め多くの動植物が生息する園芸高校で近隣の小学校を対象に月に1度昆虫観察会を企画、実施している。

(3)昆虫観察会を実施するに至った理由
園芸高校の豊かな自然で**子供たちに対して昆虫観察会を開く**ことによって、子供たちが昆虫が生態系に与える影響や役割を理解し、普段スポットライトの当たらない昆虫について理解し、興味をもってもらおうと考えた。

III. 結果・まとめ

(1)アンケートの結果

8月	1	2	3	4
質問1	8	2		
質問2	8	2	1	
質問3	9	2		
質問4	7	2	1	
質問5	9	1		
質問6	4	3		3
質問7	8	1		1
質問8	10			
質問9	8	2		

9月	1	2	その他
質問1	55	3	
質問2	45	11	2
質問3	47	10	1
質問4	43	15	
質問5	45	12	1
質問6	55	3	

(2)観察会の良かった点

1. 観察会に参加してくれた子供がケガ無く、楽しんで学習してもらうことが出来た。
2. 8月のアンケートを見て9月には改善出来た

(3)観察会の反省点

1. 大人数の子供たちをまとめることが出来ず、観察会がスムーズに進まなかった。
2. 観察する昆虫が子供たちでは採集することが難しかった場面があった。

(4)次回に向けて

反省点で挙がったように大人数の子供たちをまとめ、スムーズに観察会を進行させられるように各メンバーとより協力する。これからは高学年も対象にすることを視野に入れて観察会を企画していく。

II. 昆虫観察会について

生態系を理解した
昆虫少年少女を
ふやすために

近隣の小学校2校を対象に観察会を実施した！



(1)目的

観察会を通じ子供たちが身近な昆虫と生態系の関係を十分に理解し、興味を持ってもらう。また、昆虫という一つの命について学んでもらうことで、子供たちに命の大切さを知ってもらう。

(2)内容・方法

子供たちが楽しんで学習できるように最初にポスターで観察する昆虫についてよく理解してもらう。その後に実際に昆虫を採集し自然の姿を観察してもらう。そして、最後に観察会についてのアンケートを記入してもらう。

8月はチョウ・バッタ・トンボについて、9月はカマキリについて説明・観察を行った。

(3)当日の様子

8月は 10人、9月は 58人が参加した。

参加した子供たちは皆楽しそうに学習していた。ポスター学習も無事成功し、大人数の参加者の中、けが人無く無事観察会は成功した。

実施したアンケート

2020年9月実施
昆虫観察会アンケート

① あてはまる ② あてはまらない
どちらかに○をしてください。

1. きょうの観察会は楽しかった。
[X] [] [] []
2. カマキリについて学習できて良かった。
[X] [] [] []
3. 観察会に参加するよりも、もっと昆虫を知りたいと思った。
[X] [] [] []
4. 観察会に参加するよりも、昆虫のことを好きになった。
[X] [] [] []
5. 観察会に参加するよりも、昆虫を大切にしたいと思った。
[X] [] [] []
6. このような観察会に、また参加したいと思う。
[X] [] [] []

アンケートは終了です。ありがとうございます。

ポスター説明の様子



昆虫観察の様子



危険生物の注意喚起



ポスター

IV. 今後について

今後はより子供たちに楽しんで生態系について理解してもらうために、生態系について、より楽しい紙芝居や野外活動等を考案する。そして、参加人数の少なさからデータの少ない小学校高学年の参加が見込めるような観察会も開いていきたい。そして、生態系を理解した昆虫少年少女を増やせるよう活動していく。

